

明和町立地適正化計画（素案）に対する意見の内容と町の考え方について

募集期間	令和8年1月5日（月）～令和8年2月5日（木）
資料の閲覧方法	役場・各コミュニティーセンター・明和町HP
応募方法	持参・郵送・FAX・回収箱・明和町HPwebフォーム
意見提出件数	9件

回答番号	意見内容	町の考え方
1	少子高齢化がどんどん進んでいるため仕方がないと思う。形は変わっても町がこれからも残っていけるように考えてほしい	持続可能な構造への転換「コンパクト+ネットワーク」の理念に基づき、医療・福祉・商業などの生活機能を駅や役場周辺に集約し、それらを公共交通で結ぶことで、人口が減っても利便性が維持される町を目指しております。社会情勢の変化に対応するため、おおむね5年ごとのPDCAサイクルで評価・見直しを行い、実効性の高い取り組みを継続し、住民が住み続けられるよう環境整備に努めます。
2	明和町で長年子育て中ですが、明和で良かったと思えたことはありません。子育て支援も最低限しかなく、外壁塗装の補助や入学準備の補助なども他の市町で行ってる事が明和町にはない事が多いです。子どもを遊ばせる場所もなく、公共機関が不便なので車の所持が必須だけど、それに対しても自動車税の軽減などの補助があったらいいなあと思います。上の子が大きくなると色んな支援が対象外となりますが、明和町では上の子の年齢に関係なく、3人目4人目扱いし欲しいなあと常に思ってます。大切な子どもたちを守るように、給食の無償化…よりは質と量がしっかりした給食の提供をな望みます。牛乳が飲めないこの為にも、給食の牛乳は選択制にして欲しいです。財源が無いのかもしれませんが、ふるさと納税をしてもらえるように魅力的な返礼品を考えるのも必要だと思います。今あちこちで問題となっている外国人問題ですが、明和はまだそれが無いのが凄くありがたいです。歴史ある齋宮なのでインバウンドやAIにばかり進むのではなく、古き良き文化を大切にしたいなあと思います。日本人を大切にす町であってください。	町では、人口減少や少子高齢化が進む中でも、子育て世代が安心して住み続けられる環境を整えることを計画の大きな柱としています。また、子育て世代には役場周辺の都市拠点や駅周辺の生活拠点に子育て支援機能を誘導し、拠点内では徒歩圏内で必要なサービスを受けられるような環境づくりを目指しています。なお、ご指摘のあった各種補助、支援制度等については、本計画（立地適正化計画）の直接の対象範囲ではありませんが、町の最上位計画である「明和町総合計画」等との整合を図りながら、引き続き検討すべき事項として共有いたします。

明和町立地適正化計画（素案）に対する意見の内容と町の考え方について

3	<p>基本的な方針について(3-3骨格構造)について、明星駅周辺よりも金剛坂周辺の方が即地的評価結果の濃いオレンジ部分が多いのに、生活支援機能を設けるのは無理があります。議員の力ですか？データを基に議論願います。さらに斎宮駅周辺にカフェなどの飲食店が無いと観光客も来ないと考えます。飲食店誘致するべきだと考えます。</p>	<p>生活支援機能につきましては、現在の施設の立地状況や駅からの距離等を踏まえ、総合的に判断して決定しております（P93～94に記載）。</p> <p>なお、斎宮駅周辺の都市機能誘導区域においては、面積500㎡以下の店舗を誘導施設として設定し、誘致を図ることとしています（P93～94に記載）。</p>
4	<p>将来のことを考えると必要な計画だと思います。 この計画とは別に郊外の対策も考えていくことも大切です。</p>	<p>本計画は都市機能の集約を図ることが主目的ではありますが、誘導区域外においても、防災のあり方や地域活性化に関する施策を定めております（P71～73及びP101に記載）。</p>
5	<p>1.斎宮駅 明星駅だけでなく、松阪市と隣接した近鉄漕代駅近辺の開発及び生活支援機能の充実を松阪市と協力して考えるべきと思う。たまたま市町村の境界に立地しただけで、駅があるのに何の計画も考えないのは不公平であると思う。</p> <p>2.大仏山、斎宮池、平尾あたりの山林を開発、もしくは廃校になった小学校を利用して、AIデータセンターの誘致を検討したらいかがかと思う。固定資産税の大幅増益が期待され（公害も起きない）大規模施設なので町の税収改善に寄与すると思う。なお、三重県は志摩半島から海外にむけて大容量の海底ケーブルの接続基点になっているのでデータセンター誘致には有利な立地と考えられます。中部電力の高圧線鉄塔が町内にある事も有利であると考えます。</p>	<p>本計画においては、都市計画マスタープラン等を基に、既存の都市機能施設や過去の開発傾向、災害リスク等を参考に、総合的に利便性、安全性等の高い区域であることから誘導区域を定めています。ご指摘の点については、松阪市との連携・協議が必要あると考えますので、今後の検討課題としたいと思います。</p> <p>また、修正小学校跡地については、IT交流施設「修正集学校」として跡地利活用事業を実施していただいています（P101に記載）。これは、閉校した施設の跡地を有効活用し、地域活性化につなげる町の「跡地利活用方針」を体現した事例となります。今後、その他企業誘致については別途必要な取り組みを実施・検討してまいります。</p>
6	<p>居住誘導区域への住み替えを促進するためには、区域内の空き家バンクの更なる活用や、若者・子育て世代が中古住宅を購入・リフォームする際の補助制度の拡充が必要です。</p> <p>また、区域外から区域内へ転居しようとする高齢者に対しても、住み慣れた家を処分・管理するための支援や、転居費用の補助など、具体的なインセンティブ（動機づけ）の検討をお願いします。</p>	<p>居住誘導を図るため、移住・定住促進を図ることとしております（P99に記載）。高齢者に対しても、安心して都市拠点や生活拠点に住み続けられるように、バリアフリーをはじめとする住環境の改善に務めることとしています（P99に記載）。</p>
7	<p>新しい住宅地を作るよりも、今ある『空き家』を何とかしてほしいです。</p> <p>便利な場所にも空き家がたくさんあるので、そこをリフォームして若い人が住めるようにするなど、今ある建物を大切に使うことを優先してください。</p>	<p>居住誘導を図るため、移住・定住促進を図ることとしており、空き家改修・再生費用の助成を行うこととしています（P99に記載）。</p>

<p>8</p>	<p>居住誘導区域に人を集めるなら、そこに『公園』や『安全な歩道』が整備されることが必要です。</p> <p>今の計画だと、家だけが密集して、子供がボール遊びできる場所がなくなったり、交通量が増えて事故の危険が増したりするのではないかと心配です。子育て環境の質の向上も重視してほしいです。</p>	<p>生活環境整備に関する施策として、都市拠点において自動車の速度抑制などの交通安全対策を推進することとしています（P100に記載）。</p>
<p>9</p>	<p>人口減少等の社会問題に対し、新小中学校の周辺や駅を拠点とした「コンパクトなまちづくり」を推進し、交通・インフラの効率化を図る構想は非常に現実的かつ効果的であり、賛同いたします。</p> <p>一方で、効率性を重視した集約化が進むことで、各地域で代々受け継がれてきた伝統行事や独自の文化が希薄化し、消滅してしまうことを危惧しています。「住みやすさ」という利便性だけでなく、歴史や文化の存在こそが住民の郷土愛を育む重要な要素です。自分の町に誇りを持てることが、結果として町外への人口流出を食い止める大きな抑止力になると考えます。また明和町の歴史・文化・伝統は、町外の方々にとっても非常に魅力的なコンテンツです。移住のきっかけにもなるかと思えます。</p> <p>都市機能の集約を進める一方で、明和町ならではの歴史的・文化的資産を次世代へ繋ぐ視点を、今後の取組においても強く持ち続けていただくことを期待します。</p>	<p>本計画における「コンパクトシティ」の考え方は、単に機能を特定の場所へ集約するだけのものではなく、地域の資源や歴史的な背景を尊重し、それぞれの地域が持つ役割を明確にすることを重視しています。</p> <p>本計画の基本方針の一つに「歴史と共存したまちづくりの実現」を掲げており、具体的には、斎宮駅周辺を「歴史・文化」を特徴とする拠点と位置づけ、史跡や古い街並みを保全しながら、居住環境との調和を図る方針です。都市機能の集約による利便性の向上を図る一方で、町民の皆様が愛着を持って住み続けられるよう、明和町ならではの歴史的・文化的アイデンティティを次世代へ引き継ぐ視点を持ちながら、持続可能なまちづくりを推進してまいりたいと考えます。</p>